

総裁選効果維持する工夫を 新首相演説でビジョン示せ

民主党が小沢一郎代表の無投票3選を決めたのに対し、自民党は5人の候補者による街頭演説会を全国17カ所で行った。その勢いを駆って衆院選に打って出ようとの考えだが、果たして思惑通りに進むのか。自民党の片山虎之助前参院幹事長に今後の政局の見通しなどを聞いた。

派閥は有名無実化

〈自民党町村派では、森喜朗元首相と町村信孝官房長官らが他派閥の麻生太郎幹事長を支援する一方、中川秀直元幹事長らは町村派の小池百合子元防衛相を支持。津島派も、同派の石破茂前防衛相を推す議員と、与謝野馨経済財政担当相、麻生氏をそれぞれ応援する議員に分かれるなど、各派閥内で足並みの乱れが目立つ総裁選となった〉

— 麻生新総裁誕生の流れとなっています。

「地方票は『地方出身の麻生

さんはこの1年間、地方を回り、地方の疲弊を理解している』

『麻生さんは景気回復のために財政出動が必要だと言っている』と共感し、議員票は衆院選の顔としてふさわしいとの判断が働いた。ただ、麻生さんは個性が強いから、『麻生ファン』がいる一方で『反麻生』も存在する。総理・総裁として党内の求心力をどう高めていくかが課題だ」

— 政策集団としての派閥が全く有名無実化しています。

「確かにそうだ。昔の派閥は領袖を総理・総裁にすることが

存在目的だったが、それが崩れて久しい。政策集団と言うからには派閥として統一した政策があるべきだが、今回焦点となつた経済政策でもばらばら。派閥には金の世話、選挙の応援、若手議員の教育、情報交換といった役割もあるが、政治資金制度の改正で金銭面の世話が難しくなり、統制力が落ちてきている」

「政策の路線だけでなく、人間関係や派閥の後継者の話が絡むと余計にまとまらない。津島派では、額賀福志郎前財務相が総裁選に2度意欲を示しながら、結局見送った。中堅・若手

は、誰か出そうということでは破さんを擁立した。一方、青木幹雄前参院議員会長ら参院津島派は、与謝野さんの政策能力を高く評価し、総裁選を实のある政策論争にするため推したのだと思う」

〈民主党の鳩山由紀夫幹事長は、自民党総裁選について「首相の器というものをどう感じているのか。総裁選ごっこをやっているようにしか見えない」と発言、社民党の福島瑞穂党首も「コップの中の嵐にすぎない。中身を変えず、包装紙だけを変えて衆院選をやるうとしてい」と、批判した〉

— 安倍晋三、福田康夫両氏が続けて政権を投げ出した背景をどう見ていますか。

「言い過ぎかもしれないが、心身共にひ弱という点がある。かつての領袖は政権を取るためにいろんな面で自らを鍛え上げてきた。安倍さんは小泉純一郎元首相から『たなぼた的』に政権

インタビュー — Interview

を譲り受け、そして健康問題が起きた。福田さんは『ねじれ国会』の重圧を承知の上で首相になったはずだが、2人とも石にかじりついてまでやろうという根性がなかった」

— 総裁選の勢いを衆院選へつなげるでしょうか。

「テレビも新聞も総裁選を取り上げ、自民党の支持率が上がったのは間違いない。だが、このまま総選挙での自民党の得票に結び付くかは分からない。いつ解散するか、新しい首相がどういうメッセージを打ち出すのか、国会冒頭の所信表明演説は、まさにこれからの国政に関する見解だから、国民の心に響く中身にしないといけない」

補正予算の成立難?

〈太田誠一農相は、農薬などに汚染された事故米の不正転売問題で「人体に影響がないこと



片山 虎之助氏 (かたやま・とらのすけ) 東大卒。参院国対委員長、総務相、参院予算委員長。73歳。参院当選3回。(自民)

は自信を持って申し上げられる。だからあんまりじたばた騒いでいない」と発言。これに対して、民主党の鳩山幹事長は

「農相は一刻も早く辞めるか、福田康夫首相が罷免するべきだ」と、罷免を求めていく意向を表明した」

— 臨時国会はどう展開するでしょうか。

「政府、与党側が一方的に所信表明演説だけやって、衆院解散となると、『問答無用』といった悪い印象を与えてしまう。少なくとも野党の代表質問を受けることは必要だ。2008年度補正予算を提出したら成立さ

解散が多数説だ」

— 新首相が総裁選候補者全員を閣僚や党役員に起用するとの見方も出ています。

「とにかく小沢民主党は政局最優先で、政府、与党にダメージを負わせようと対決路線を取ることは間違いない。挙党態勢、適材適所の観点から、そういう選択をする可能性は十分ある」

2匹目のどじょう狙う民主

〈民主党は次期衆院選に向けたマニフェスト(政権公約)の策定作業を本格化させている。しかし、年金最低保障部分の全額方式や子ども手当のほ

せた方がいいが、予算委員会でも年金記録や事故米の問題などで、野党から攻め立てられ、時間が掛かる恐れがある。代表質問終了後の

か、農業者だけでなく新たに漁業者を対象とした戸別補償を盛り込むなど、財源は最低総額17、18兆円が必要とされる」

— 民主党が掲げる政策についての感想は。

「昨年の参院選と同じで、柳の下にどじょうが2匹いるかどうか。民主党の政策を実現するために安定的な財源が必要になる。特別会計の『埋蔵金』もどれだけあるか分からないし、1回限りの話だ。年金や戸別補償、子ども手当での安定した財源になるわけがない。無駄を削ると言っても抽象論にすぎないし、説得力に欠ける」

— 政界再編の動きは。

「第3極をつくらうと、自民党、民主党の一部議員による新党で、キャスティングボートを握りたいという動きが出てくるかもしれない。ただ、総選挙前の新党は、どんな形でも実現は難しいと思う。『改革クラブ』もどこまで広がるのか疑問だ」

(聞き手 編集部 松浦 義章)